

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人秀峰会	代表者	理事長櫻井大	法人・事業所の特徴	横浜市に様々なサービスを展開して、高齢者介護に長く携わってきている。当事業所も地域に役立つサービスを提供し、介護事業者だけでなく、町内会行事への参加や乳幼児交流会を開催し、外部との交流にも力を入れている
事業所名	小規模多機能型居宅介護りんどう	管理者	佐々木一茂		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	1人	1人	1人	1人	1人	2人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	常勤職員には「ほとんどできない」といった回答が出ないように評価表に沿って必要な研修計画を作成し実施	年間研修スケジュールを作成しそれに沿って研修実施するも時間を完全にとれず、内容の薄い研修になる事もあり再検討が必要	<ul style="list-style-type: none"> 「できていない」の回答は前回より減ったがまだ多くある 研修実施後の効果がわからない 	自己評価の内容やその実施意味について理解する研修を行い職員の理解度を高める
B. 事業所のしつらえ・環境	法人で推奨している5Sを週1回実施して清潔な環境を維持して居心地の良い施設にしていく	環境整備の担当を決め週1回のペースで普段行き届かない場所の清掃を行っている。今後も継続していく	<ul style="list-style-type: none"> 施設内美観は年間を通して維持されている。 季節毎の飾りつけで季節感が醸し出せている 	開所5年目となり施設内も汚れや物品破損等が目立ってきているので、整備、掃除等を日々行い清潔な環境を維持していく
C. 事業所と地域のかかわり	包括主催の勉強会や地域民生の集まり等に積極的に参加して連携を強める。通期で4回程度参加を目標とする	数か所で行われている集まりに7回程度参加することができた	<ul style="list-style-type: none"> 町内会の季節行事で職員が参加している姿を見かける 民生委員の会合でこれまで2回程小規模の情報提供をしたことがある 	<ul style="list-style-type: none"> 包括連絡会は情報を得る重要な機会の為、これらを中心に参加を行っていく。 小規模多機能型が地域にもっと浸透していくように活動していく
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	行事年間計画を作成し、月に一回以上催し物を開催し、楽しみを提供していく	年間計画の通り実施できた。また月1回でなく数度にわたり行事提供を行い、ご利用者からは好評を得た	<ul style="list-style-type: none"> 利用者を連れて地域行事に参加する姿をみる 日常的に近隣を散歩している姿を見かける 	これまでの活動を継続しつつ、視点を変えてご利用者本位の行事やレクを提供し、自立した活動が出来る様に支援していく
E. 運営推進会議を活かした取組み	28年度より2か月に1回開催に変更して計画策定	28年度は2か月に1回。計6回開催することができた。29年度も参加者の日程調整をしっかりと行い規定回数を実施していく	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の対応事例を報告し活動内容がよくわかった 新しい参加者が増えた 	テーマに認知症と地域の関わりについて意見や助言をもらえるような会を実施する
F. 事業所の防災・災害対策	事業所の防災計画の閲覧・提示を運営推進会議のテーマとして1度行う	防災計画等の内容をテーマにした会議はできなかった。夜間想定と地震想定避難訓練は行えた	<ul style="list-style-type: none"> 近隣住民が災害で助け合う事は正直難しい。防災協定を締結した実績は町内会ではないが今後の検討課題。 事業所避難訓練は行っている。避難経路が簡素で避難しやすい 	火災・地震等引き続き避難訓練を行う。年2回を3～4回程度行える様に企画していく